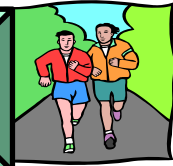




風を背に道の駅を楽しもう！



1 背景と目的

地方部では、人口減少を引き金に学校や病院の閉鎖並びに企業の撤退、さらに高齢化に伴う担い手不足と言った“地域環境の縮小化”が顕在化しつつある。

こうした社会構造が変化する下、20年以上前に登場した『道の駅』は、今や全国に1,030箇所、九州には116箇所を数えるまでに増え、地域創生へ向け新たな役割が求められている。

一方で、道の駅周辺では、たとえば国土景観保全を目的とする「日本風景街道」への取組や身近な美化活動に勤しむ「道守」などの地域活動が様々な方々によりくり広げられている。

今後、地域（まち）を元気にするには、老若男女そして様々なジャンルの市民が継続して楽しめる場づくりが必要である。そこで、道の駅、日本風景街道、道守のフィールドに着目し、活動内容をうまく組み合わせながら、地方創生企画『風を背に道の駅を楽しもう！』を提案する。楽しみ方は駅伝あり、ウォーキングあり様々・・・。

2 企画概要

2-1 リソース

- ・九州管内116箇所の道の駅、13ルートの日本風景街道、各県道守会議

2-2 舞台

- ・前記道の駅、駅を包含する日本風景街道ルートエリア、道守活動拠点

2-3 開催及び参加・運営要領

(1) 期間

- ・春、秋、冬にわたるスリーシーズン（夏期は避ける）の祝・休日
- ・各プログラムは、可能な限り地域の祭り・行事とリンクする

(2) 参加要領

- ・道の駅に関心のあるランナーやウォーカー
- ・設定コースと区間を選び、応募（参加費1,500円；保険と活性化基金）
- ・参加賞は道の駅特産品の中から一品プレゼント
- ・服装は自由、前に目的地と背中に出発地の道の駅名を書いたゼッケン貼付

(3) 運営要領

【参加者】

- ・道の駅まではマイカーまたは公共交通機関にて到着
- ・区間踏破は一人でもリレーでも可能、途中から送迎も可。
- ・ウォーキングにはバスや貸自転車も利用可。

◎ 駅間を結ぶ主道路では『駅伝』方式、走者は出発駅から渡されるクイズ（道の駅にちなみ、コース途中にヒント）を携え、目的駅で回答する。

◎ 駅を拠点にするウォーキングでは、駅に出荷する農作物の集荷作業と加工体験をしながら、体験談や経路の話題等を掲示板に記述（新たな情報ル-）。

【おもてなし】

- ・各駅のオリジナル企画として、祭事や旬の食材提供により参加者や来訪者を歓待する（募集に記載）。
- ・「日本風景街道」グループでは、道の駅を発着点に趣あるビューポイントを結ぶオリジナル・ウォーキングコースへと誘う。
- ・「道守」グループでは、開催期に合わせ、駅内やコース途中のビューポイントへ出向き、地域の子供たちと季節の花で彩りを添え、参加者へ癒しを届ける。

【協賛】

- ・関係自治体、観光協会・商工会議所、スポンサー企業、道の駅連絡会、旅行業界、JAF

【後援】

- ・国交省、農水省、経産省、九州道守会議、日本ウォーキング協会、報道機関、初込、JR



3Sとは：道守（ロード・パートナー：r・S）、シニョバワイ（S・b）、道の駅（ロードステーション：r・S）

3 お勧めプラン

シーズン	道の駅及び風景街道	お勧め内容
冬	■ <いぶすき> ←・・・→ <山川港活お海道> かごしま風景街道 「いぶすき菜の花マ-チ(1月)」「九州カル指宿・開聞コ-ス」	回轉ローリ流し発祥地，茶畑，豆畑，最南端駅と東シナ海の夕日，鯉節工場
	■ ・・・← <桃山天下市> →・・・ 玄界灘風景街道 「九州カル唐津コ-ス(年間)」	元寇物語る島々，秀吉の朝鮮出兵陣屋跡，棚田めぐり，名護屋城さるき，窯元探訪
春	◆ <くるめ> ←・・・→ <うきは> ←・・→ <原鶴> みどりの里・耳納風景街道 「久留米つつじマ-チ(4月)」	ツバキ園，ツツジ園，用水路，山包の道，棚田めぐり，古刹(寺社)
	◆ <フエツクス> ←・・・→ <南郷> ↔ <酒谷> 日南海岸きらめきライン 「花旅みやざき(年間)」 「ジヤガラガ祭り(5,6月)」	鉄肥の町並み，海岸と神話，幸島の野生猿，ツバコチヨウ，堀川運河，坂元の棚田，岬めぐり
秋	● <くにみ> ←・・・→ <国東> 別府湾岸・国東半島海への道 「国東半島芸術祭」，「オラヨ巡礼の道ウ-キガ」・9月	南蛮文化史跡巡り，山岳仏教古刹，周防灘日の出，田染の里山，昭和レト
	● <阿蘇> ↔ <波野> ↔ <すごう> 九州横断道・阿蘇くまもと路 「旅する蚤の市」，「神楽フェスタ」，「大阿蘇ウ-ク」	門前町と水源，スライ・ヒコタイ群集，牧草地と赤牛，温泉巡り，スナ草原，神楽
	● <生月大橋> ↔ <たびら> ↔ <松浦海のふるさと館> ながさきサンセットロード 「ひらどツデーウ-ク」，「平戸秋祭り」，「九州カル平戸コ-ス」	教会群，夕日と橋，平戸南蛮文化，元寇史跡，ながさき巡礼ル-ト

玄界灘風景街道



日南海岸きらめきライン



別府湾岸・国東半島海への道



4 提案の効果

- 小さな拠点づくりとして、まち・ひと・しごと創生の推進に寄与する。
- 国内各地からの交流が生まれ、地域の魅力発信による移住促進、あるいは地域を見直すきっかけづくりとして定住促進につながる。
- 行政と市民（住民）及び民間のタイアップにより、広範な人の動きが期待でき（力+力+力がプラス+協→人+動=働）、地域を愛でる継続活動へと。
- ビジットジャパン二千万人目標に向けての有力ツール候補。

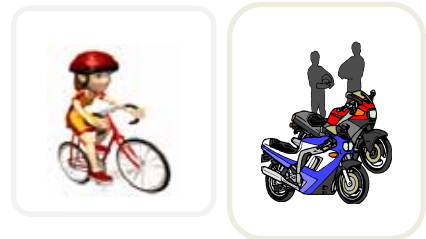
5 実現に向けて・・・そしてさらに楽しむには

※合い言葉は「モノとつながる，人とつながる，地域とつながる，未来につながる」

- 沿道通行（特に駅伝）の安全確保と地元の協力が大前提。
- ◎関心の高い方ばかりでなく、地域の方々が多く参加できるうま味が必要。
- ◎地域の盛り上がり機運の醸成にあたり、関係機関・団体（商工会議所，教育委員会，福祉協議会，JA，漁協）と事前協議調整が大切。
- 企画立案では、主軸となる（一）九州・沖縄道の駅ネットワーク及び（一）日本風景街道九州ネットワークとの協力体制構築。
- 参画団体，協力団体間の役割やリスク分担を予め整理することが大事。

～さらに楽しみ倍増には～

- 二輪愛好家（自転車，バイク）によるツーリング企画へ適用拡大。
- 旅行の楽しみ方として旅行業界のパック商品に。



（参考）

類似する取組として

- ◆最近、マラソン大好き芸能人らが道の駅を舞台に駅伝を開催している（TV 東京の土曜スペシャルにて不定期放送中）。
- ◆JR九州では、JR 駅をスタート・ゴールにした町並み歩きに「道の駅」や「風景街道」を含めたコース企画がある。